

## 鉦山・建設系分会ホームページ

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 支部・分会名 | 東京支部 鉦山・建設系分会                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 分会長    | 柿原利之（開46）                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 事務局    | 眞柴浩（設建H8）                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 情報     | <p>1. 鉦山・建設系分会の概要について</p> <p>2. 平成31・令和元年度分会行事予定</p> <p>3. 分会行事等の開催の案内</p> <p>①令和元年度分会年次総会・春季講演会・新人歓迎会のご案内</p> <p>4. 分会行事等の結果の報告</p> <p>5. 会員交流・情報交換の場—講演会—について</p> <p>6. 九州工業大学建設系同窓会について</p> <p>7. 分会役員名簿</p> <p>8. お問い合わせ・連絡先</p> <p>（令和2年11月17日「4. 分会行事等の結果の報告を更新」）</p> |

### 1. 鉦山・建設系分会は、我が国の市民生活・経済産業活動を支える 社会資本の整備に取り組む建設技術者の集まりです。

#### 鉦山・建設系分会の概要について

鉦山・建設系分会は一般社団法人明専会の支部の一つ（在京の他の5分会と一体となって東京支部を構成して、連携をとっています）で、下記の、我が国の市民生活・経済産業活動を支える社会資本の整備に取り組む建設技術者の集まりです。

○明治専門学校創設以来の伝統を誇る鉦山工学科（採炭科、採炭工学科を含む）および昭和37年に改組された開発土木工学科、設計生産工学科（建設工学コース）、建設社会工学科を卒業及び同系の大学院を修了した者（下表参照）

○東京都、千葉・神奈川・埼玉の各県及びその近郊に勤務及び在住されている者  
現在の会員（連絡先が確認されている方）は、昭和14年度の卒業生から平成30年度まで、約320名を数え、会員相互の交流と親睦を図り、東京支部や母校と連携して、学生育成の支援に努め母校の発展に寄与していくことを目的に活動を進めております。

分会の主な定期的な活動は、①年次総会及び新人歓迎会、②春と秋の講演会、③年数回の幹事会及び東京支部主催の各種のイベントへの参加・協力です。

最近では、会員の皆様方のご協力もあり、これらの活動への参加会員数が20名を越えるようになり、長年の悲願：参加者数20名の壁の突破することが出来ました。

さらに参加者を30名（会員の約10％）に近づけることと、平成年代の若手、女性会員

の分会活動への積極的な参画を図ることを、当面の目標として努力致しております。

(参考)

### 鉾山・建設系学科の沿革

|               |                                                     |
|---------------|-----------------------------------------------------|
| 1907 (明治40) 年 | 私立明治専門学校設立許可                                        |
| 1909 (明治42) 年 | 私立明治専門学校 (4年制) 開校<br><b>採鉱学科</b> 設置                 |
| 1921 (大正10) 年 | 官立移管<br><b>鉾山工学科</b> 改称                             |
| 1938 (昭和13) 年 | 採炭工学科 増設                                            |
| 1944 (昭和19) 年 | 明治工業専門学校 (3年制) 改称<br><b>採鉱科</b> 改称                  |
| 1946 (昭和21) 年 | 採鉱科鉾山分科・採鉱科土木分科 設置                                  |
| 1949 (昭和24) 年 | 九州工業大学 設置 (5月31日)<br><b>鉾山工学科</b> 設置<br>明治工業専門学校を包括 |
| 1964 (昭和39) 年 | <b>開発土木工学科</b> 改組                                   |
| 1988 (昭和63) 年 | 設計生産工学科 <b>建設工学コース</b> 改組                           |
| 1997 (平成09) 年 | <b>建設社会工学科</b> 設置                                   |
| 2008 (平成20) 年 | 建設社会工学科に <b>建築学コース</b> 設置                           |
| 2010 (平成22) 年 | 建築学コース 学生受入開始                                       |
| 2012 (平成24) 年 | 建築学コース 第1期生卒業                                       |

## 2. 平成31年度・令和元年度は下記の行事を予定しています。

分会および東京支部では、平成31年度（5月から元号が変更されます）は、下記の行事を予定して、会員皆様方との交流を期待しております。

なお、各行事の詳細については、決定次第にその都度、下記『3. 分会等行事のご案内』において、ご案内いたします。

平成31・令和元年度分会行事予定表

| 開催予定月日    | 行 事 名 等          | 備 考     |
|-----------|------------------|---------|
| 1月26日（土）  | 東京支部・鳳龍クラブ新年会    | 東京支部行事  |
| 2月 9日（土）  | 第4回利き酒会          | 東京支部行事  |
| 2月16日（土）  | 明トラ大会（第14回；分会対抗） | 東京支部行事  |
| 3月13日（水）  | 幹事会              |         |
| 3月16日（土）  | 明専会社員総会・支部長会議    | 明専会本部行事 |
| 4月20日（土）  | 東京支部春季講演会        | 東京支部行事  |
| 5月25日（土）  | 明トラ大会（第15回）      | 東京支部行事  |
| 6月15日（土）  | 分会総会・春季講演会・新人歓迎会 |         |
| 7月 6日（土）  | 関東地区新人歓迎会        | 東京支部行事  |
| 8月24日（土）  | 明トラ大会（第16回；分会対抗） | 東京支部行事  |
| 9月 上旬     | 幹事会              |         |
| 10月 5日（土） | 東京支部秋季講演会        | 東京支部行事  |
| 11月 9日（土） | 分会秋季講演会・懇親会      |         |
| 11月30日（土） | 明トラ大会（第17回）      | 東京支部行事  |
| 12月18日（土） | 東京支部役員会・忘年会      | 東京支部行事  |
| 1月 下旬     | 幹事会              |         |

注）上記の他、東京支部行事として、

「東京企画委員会」が毎月第3水曜日、

「鳳龍クラブ運営委員会・東京支部役員会」が隔月で第3水曜日に開催。

## 3. 分会等行事の開催のご案内

（1）6月15日（土）に令和元年度総会・春季講演会・新人歓迎会を開催致します

平成31年度総会・春季講演会・新人歓迎会を下記により開催致します。

総会の後の春季講演会の講師には、母校の鬼束（設建H4）教授をお迎え致します。

学科の近況や先生が長年取り組んでこられた研究「魚のすみやすい川づくり」について興味深いお話をお願いしております。

会員の皆様、多数のご参加をお待ちしております。

## 令和元年度総会・春季講演会・新人歓迎会

開催日時 令和元年 6月 15日(土) 11:00～14:00  
開催場所 明専会東京センター・九州工大鳳龍クラブ(新橋)  
電話: 03 - 3572 - 2009

行事予定 総 会 11:00～11:30  
講演会 11:30～12:30  
演 題 : 学科の近況と  
研究内容(魚のすみやすい川づくり)について  
講 師 : 九州工業大学教授 鬼束 幸樹 氏(設建H4)  
(講演の要旨、講師略歴を下段に掲載しています)

新人歓迎会 12:30～14:00  
新人歓迎会会費 4,000円(当日ご持参下さい)  
なお、新人会員は1,000円  
若手(35才以下)及び女性会員は2,000円

### 春季講演会のご案内

演 題 : 学科の近況と  
研究内容(魚のすみやすい川づくり)について  
講 師 : 九州工業大学大学院教授 鬼束 幸樹 氏(設建H4)

#### 講演の要旨

学科の近況として、退職(佐久間先生)および新任教員(趙先生)を紹介いたします。近年の学科の活動(海外派遣、海外からの招聘、国際セミナー(KMK セミナー)など)を紹介いたします。また、入試の変更内容(AO入試の30%拡充)、就職状況などを紹介いたします。昨年度の明専塾(役所などの公的機関)の活動状況を報告いたします。

魚のすみやすい川づくりの一環として、PHABSIMを用いたアユの産卵に適した物理環境の予測方法とそれに基づいた河道設計および魚の遡上に適した魚道の幾何学形状の把握について講演いたします。

#### 講師の略歴

1970年 神奈川県川崎市出身  
1988年 福岡県立宗像高校 卒業  
1992年 九州工業大学工学部設計生産工学科建設コース 卒業  
1994年 九州工業大学大学院工学研究科博士前期課程設計生産工学専攻 修了  
1997年 九州工業大学大学院工学研究科博士後期課程設計生産工学専攻 修了

|        |                        |
|--------|------------------------|
| 1997 年 | 京都大学大学院工学研究科環境地球工学専攻助手 |
| 2002 年 | 九州工業大学工学部助手            |
| 2003 年 | 九州工業大学工学部助教授           |
| 2017 年 | 九州工業大学大学院教授            |

会員各位宛には、案内状やメールでご連絡済みです。  
同封の返信用ハガキでご連絡ください。

## 4. 分会等行事の結果のご報告

### 鉾山・建設系分会 幹事会（令和2年度 第1回） 議事録

- ・日 時：令和2年 2月14日（金） 18：30～19：50
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ
- ・議 事：総会・春季講演会・新人歓迎会・季講演会、その他
- ・資 料：鉾山・建設系分会 幹事会（令和2年度 第1回） 次第
- ・出席者：柿原、真柴、足立、小郷、岡田、江崎（6名）

#### 議事 1. 令和2年度の年間行事予定について

- ・本日の幹事会を含めて行事予定を確認した。
  - 4月 4日（土） 幹事会（第2回 総会案内等の発送作業）
  - 6月13日（土） 総会・春季講演会・新人歓迎会・懇親会  
幹事会（第3回 秋季講演会の講師について、他）
  - 9月 幹事会（講演会案内等の発送作業）→後日、日程調整
  - 11月 7日（土） 秋季講演会・懇親会

#### 議事 2. 総会・春季講演会・新人歓迎会及び東京支部講演会案内の発送について

##### 1) 資料の作成、印刷等の担当の決定

- ・講師へのお願いと調整→柿原、真柴
- ・分会名簿の更新、送付部数の決定→真柴
- ・分会総会・講演会・新人歓迎会案内状の作成、印刷→真柴
- ・支部春季講演会案内状の印刷→足立
- ・出欠葉書の宛名、裏面印刷→江崎
- ・分会費振込票の準備→岡田（支部春季講演会案内状出力に変更）
- ・送付用封筒の宛名印刷→小郷

##### 2) 分会総会・講演会・新人歓迎会資料の作成

- ・表紙、議事次第、総会審議等の資料については、メール等で内容確認を行うことを確認した。

#### 議事 3. 寄稿文について

##### 1) 掲載について

- ・第1回の依頼者（日隈さん）に幹事長から状況を確認する。
- ・第2回の依頼は、第1回寄稿者の紹介を含めて次回幹事会で検討する。
- ・寄稿文の掲載は四半期に1回更新するものとし、更新の都度、分会関係者にはメール等で告知することを確認した。

##### 2) 寄稿文のテーマについて

- ・会員が興味を持って継続して読めるよう、テーマや内容について議論した。

- ・寄稿は技術者のあり方が中心になるため、テーマについては、「シビルエンジニア」を入れることを確認したが、その後の言葉（例えば、トラックチャート、矜持 等）は様々な意見があるため、次回幹事会で再度、議論する。

#### 議事 4. その他

##### 1) 鳳龍クラブ賛助会員への加入

- ・賛助会員が減少していること、分会の会計に余剰金の積み立てでもあることから、当分会も賛助会員として加入することを幹事会で決定し、次回、総会で報告することを決定した。

##### 2) 東京支部活動の連絡について

- ・現状、支部の運営員会は現在、会長と幹事長の2人で対応しているが、他分会は参加者が多い。
- ・支部活動の案内は幹事に送付されていないので、幹事長より支部事務局に幹事のメールアドレスを支部事務局に連絡する。

→ 2月17日に幹事長より支部事務局に送付、2月18日に支部事務局より受理の連絡有り。

##### 3) 次期代議員について

- ・2年任期の次期代議員候補者は、今期同様（柿原、真柴、岡田の3名）とすることを確認した。

##### 4) 企業幹事について

- ・卒業生が多い会社の関係者には、会長より打診した。
- ・企業幹事を通じて、総会、秋季講演会等行事への参加を働きかけることを確認した。

(以 上)

## 鉦山・建設系分会 幹事会（令和２年度 第２回） 議事録

- ・日 時：令和２年 ８月 ２２日（土） １３：００～１３：４０
- ・場 所：Web会議（Ｚｏｏｍによるオンライン開催）
- ・議 事：秋季講演会、その他
- ・資 料：鉦山・建設系分会 幹事会（令和２年度 第２回）議事次第、  
秋季講演会の開催方法について
- ・出席者：柿原、真柴、足立、小郷、岡田、江崎（６名）

議事 １．東京支部の秋季講演会（１０月３日（土）１３：００～ 講師 九工大西田准教授 鳳龍クラブで開催）

- ・分会長より開催方法などを説明。
- ・鳳龍クラブの参加は人数が制限されているので、分会からは分会長、足立、岡田の３名で、他の方はＺｏｏｍでの参加とする。

議事 ２．鉦山・建設系分会の秋季講演会（１１月７日（土） 予定）の開催について

- ・支部秋季講演会と同様に鳳龍クラブとＺｏｏｍの併用開催、オンライン形式、中止または順延を含めて講師の安田先生に意向を確認した後に、開催及び方法を決定する。
- ・幹事長より安田先生に連絡をとり意向を確認する。

議事 ３．秋季講演会の準備、案内の発送作業について

### １）分会秋季講演会の準備

- ・開催方法を決定した後、準備を進める。
- ・鳳龍クラブで開催を行う場合は、支部の秋季講演会を参考に開催方法を検討する。

### ２）案内の発送作業

- ・支部秋季講演会の案内発送及び参加者とりまとめは、期限が迫っているので幹事長よりメールで先行して行う。
- ・分会の案内発送は、郵送とメールで９月以降に行う。ただし、郵送の発送は、分会費の納入者や案内返信者のみを対象とし、従来の登録者全員から発送数を削減する。
- ・分会費納入者と案内返信者はそれぞれ６０名程度であり、幹事長と会計で照合を行う。

議事 ４．次回幹事会について

- ・鳳龍クラブで秋季講演会の案内発送作業等を行うものとし、９月中旬以降の開催で調整する。

議事 ５．昨年度報告、本年度計画について

- ・今年度は総会を中止したため、秋季講演会案内状と合わせて、会計報告等や承認記入を送付し、分会員の承認を得るようにする。

## 議事 6. その他

### 1) 企業幹事について

- ・以前の幹事会で議論した企業幹事について、候補社（者）に働きかけを行うことを確認した。

## 鉾山・建設系分会 幹事会（令和2年度 第3回） 議事録

- ・日 時：令和2年 10月17日（土） 10：00～12：20
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ
- ・議 事：秋季講演会等資料の送付作業、その他
- ・資 料：秋季講演会案内状、令和元年度収支計算書及び令和2年度予算案、返信用葉書
- ・出席者：柿原、真柴、足立、小郷、岡田、江崎（6名）

### 作業 1. 分会秋季講演会案内状等の発送

- ・上記案内状等89通を封書詰めの上、発送した。
- ・今年度はコロナ禍の影響で総会が開催できなかったため、令和元年度収支計算書及び令和2年度予算案を発送し、返信用葉書による審議で対応する。
- ・幹事長より、後日、メールアドレス届者宛、メール配信する。

## 議事 1. その他

### 1) 秋季講演会の対応

- ・秋季講演会における講演は、コロナウイルス感染予防のためオンラインで実施する。
- ・会員からの鳳龍クラブへの参加希望を確認後、当日の対応を決定する。

### 2) 寄稿文について

- ・寄稿文の表題をメールにて議論し、表題の決定後、第1回を西岡さんに依頼する。
- ・寄稿文は、A4版 2枚程度として分会HPから情報を発信する。
- ・第2回の依頼は次回幹事会で決定するものとし、寄稿文は四半期に1回更新する

(以 上)

## 2020年度 鉾山・建設系分会 秋季講演会 議事録

- ・日 時：令和2年 11月 7日(土) 13:00～15:10  
(講演終了後のフリーディスカッションを含む)
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ及びZoomによるリモート開催
- ・出席者：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ7名 Web参加 22名 計 29名
- ・資 料：令和2年度鉾山建設秋季講演会.pdf, インストール用 zoom マニュアル.pdf,  
11月7日嘉村記念賞.pdf, 11月7日台風19号.pdf, 参加者リスト.pdf  
(事前にメール配信)

### 分会長挨拶

- ・本日、嘉村記念賞を受賞された安田先生にはご講演をお引き受け  
いただいたことに感謝。
- ・本日は、新型コロナウイルス感染予防のため、リモートを併用しての開催である。
- ・規矩先生には、明専会報のインタビューシリーズへの協力を依頼。
- ・分会のホームページにリレー形式で、「シリーズ：語り継ごう！技術は人なり」  
と題して寄稿文を掲載する。第1回目は日隈先輩に依頼。

### 1. 秋季講演会 13:10～14:50

演題：地震や豪雨による地盤災害の防止に向けて  
2019年台風19号による関東での堤防被害と復旧

講師：東京電気大学 名誉教授 安田進氏（開45）

講演の概要は以下のとおりである。

- ・九州工業大学の卒業研究で土質工学の研究を始めてから50年間に携わってきた、地震や豪雨による地盤災害、特に液状化に関して、発生メカニズムの解明や対策に関する研究や技術開発とその課題についてご講演いただいた。
- ・2019年台風19号による関東での豪雨災害に関して、河川堤防の被害に対して国土交通省関東地方整備局設置の技術委員会の委員長として対応を行ってきたが、その被害の状況や対策等についてもご講演をいただいた。

真柴幹事長（設建H08）の進行で、各演題終了後に質疑応答が行われた。調布の陥没事故を始めとした地盤に関する幅広い分野を対象に、活発な質疑応答が行われた。

### 2. フリーディスカッション 14:50～15:10

講演会終了後、質問に出た調布の陥没事故に関して、安田先生が現地踏査や既往の公表資料をもとに作成された資料を説明された。その後、残った参加者で調布の陥没事故を中心にフリーディスカッションを行い、技術論に花を咲かせるとともにオンラインで懇親を深めたフリーディスカッションの話題はつきなかったが、予定の時間を超過したため、終了した。

フリーディスカッション後、短時間ではあったが、鳳龍クラブ参加者で意見交換を行い、懇親を深め16:00で終了した。



鳳龍クラブにおける開催状況

2020年度秋季講演会 出席者名簿（鳳龍クラブ7名+Zoom x リモート22名 計29名参加）

| 卒業年              | お名前    | 備 考    | 卒業年   | お名前   | 備 考 |
|------------------|--------|--------|-------|-------|-----|
| 開 45             | 安田 進   | 講師 Web |       |       |     |
| 鳳龍クラブ参加者 7名      |        |        |       |       |     |
| 鉦 31             | 日隈 證   |        | 開 51  | 小郷 政弘 | 会計  |
| 開 42             | 鶴田 秀典  |        | 開 62  | 岡田 光志 | 幹事  |
| 開 46             | 柿原 利孝  | 分会長    | 設 H08 | 真柴 浩  | 幹事長 |
| 開 50             | 樋口 孝憲  |        |       |       |     |
| Zoom リモート参加者 21名 |        |        |       |       |     |
| 開 41             | 西岡 康博  |        | 開 61  | 井上 博士 |     |
| 開 45             | 高宮 正英  |        | 開 62  | 大原 英史 |     |
| 開 46             | 勝井 秀博  |        | 開 63  | 規矩 大義 |     |
| 開 46             | 村沢 譲   |        | 開 63  | 塚田 誠  |     |
| 開 47             | 十河 茂幸  |        | 開 H01 | 吉田 剛  |     |
| 開 47             | 吉岡 民夫  |        | 開 H01 | 江崎 純  | 幹事  |
| 開 48             | 森 康晴   |        | 開 H03 | 阪井 泰造 |     |
| 開 49             | 小澤 明   |        | 設 H04 | 畠中 千野 |     |
| 開 49             | 三好 純一郎 |        | 設 H09 | 黒石 真一 |     |
| 開 53             | 高木 実   |        | 設 H16 | 木内 大介 |     |
| 開 58             | 山口 省吾  |        |       |       |     |

(以 上)

## 5. 分会では会員相互の交流、情報交換、そして懇親の場として 春と秋に講演会を開催しています。

私たちが日頃取り組んでいる道路・港湾・空港・鉄道や河川の整備あるいはビル建築等の土木・建築の各種のプロジェクトは、どれ一つをとっても同じものではありません。各々のプロジェクトはそれを施工する環境において、過去の事例等を踏まえ、自然的条件・社会的条件・経済的条件等に最適な構造物が計画され、設計され、造り上げられていくのです。その過程では、最良の資材や建設機械等を組み合わせ、各分野の優秀な技術者の知見を結集して、最高の技術力を活かしていくことが求められます。

そして、優良な社会資本を市民の皆様の利用に供して、持続ある社会の発展のため、後世の人のためになる国の遺産を造り上げる仕事に取り組んでいるのです。

在学中に折に触れ、恩師から、建設工学は『経験工学』であり、建設技術者は『人を動かす』技術者であると論された所以であります。

分会では、このような会員の皆様の日頃のお仕事に少しでもお役に立てることが出来たらと、年2回 一春の年次総会開催時と秋に一 講演会を開催して、母校の恩師や会員の皆様方から

- ①国土整備計画、地域開発計画、 ②まち造りの推進、 ③技術上の最新の課題、
- ④話題の大プロジェクトの概況、 ⑤会員の現場経験談

等に関する話題提供を頂き、参加者間での自由闊達な議論を展開しております。

会員の皆様多数の参加を頂いて、参加者相互の交流・懇親を深め、国土や地域社会のあり方、技術力の向上方策、プロジェクトの安全で効率的な完遂のための組織や人材の活用のあり方等を論じて、我が国の市民生活の向上、経済・産業の発展を支える社会資本の整備に責任を持つ建設技術者としての矜持を高めていって貰いたいと願っています。

### 鉾山・建設系分会 春・秋季講演会の実施状況

| 開催年月日                       | 講師名<br>(敬称略) | 演 題                                        | 参加者        |
|-----------------------------|--------------|--------------------------------------------|------------|
| 22年 6月 5日(土)                | 加藤 武(開41)    | 海外建設工事の実情                                  | 12名        |
| 23年 6月 4日(土)                | 勝井秀博(開46)    | 英虞湾における水質浄化の取組<br>— 浚渫土砂を用いた人工干潟の造成 —      | 7          |
| 23年11月12日(土)                | 柿崎利孝(開46)    | 私の海外工事 国際建設技術協会<br>小沢海外功労賞を受賞して            | 9          |
| 24年 4月21日(土)<br>(東京支部春季講演会) | 安田 進(開45)    | 東京湾岸の住宅地を襲った液状化被害<br>: 東日本大震災の特殊要因と復旧への問題点 | 20<br>(75) |

|                                         |                                                  |                                                |             |
|-----------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------|-------------|
| 24年 5月26日(土)                            | 堀越公博(設建H8)                                       | 北九州市の河川事業の概要について                               | 8           |
| 24年12月16日(土)                            | 鶴田秀典(開42)                                        | 電気通信事業に携わって40年                                 | 8           |
| 25年 6月22日(土)                            | 森 康晴(開48)                                        | 建設コンサルタント事業に携わって40年                            | 10          |
| 25年12月 7日(土)                            | 伊藤東洋男(開41)                                       | 二つの大震災に関係して思うこと                                | 12          |
| 26年 6月 7日(土)                            | 前野弘幸(開62)                                        | ヒューマンエラーとの戦い                                   | 12          |
| 26年11月 8日(土)                            | <b>幸佐賢二(開52)</b>                                 | 東日本大震災による被害について                                | 16          |
|                                         | 竹田宣典(開57)                                        | 海水を利用したコンクリートへの挑戦                              |             |
| 27年 6月13日(土)                            | <b>永瀬英生(開55)</b>                                 | 液状化に関する研究の現状と課題について                            | 18          |
| 27年11月14日(土)                            | <b>重枝未玲(設建H10)</b>                               | 気候変動に適応した水災害に対する<br>防災・減災技術について                | 18          |
| 28年 6月18日(土)                            | <b>佐久間治<br/>(特 別 会 員)</b>                        | 建築学コース概要及び<br>建築デザイン研究室の活動について                 | 14          |
| 28年11月 2日(水)                            | ローカムサイ<br>チンダー(建社H23)                            | 目に見えない豊かさがあふれる国、<br>ラオスの紹介                     | 11          |
| 29年 6月10日(土)                            | (講師の都合で中止、意見交換会に変更)<br>話 題:豊洲移転問題を建設技術者としてどう考えるか |                                                | 15          |
| 29年10月14日(土)                            | 高宮正英(開45)                                        | 第二名神 木曾揖斐プロジェクト<br>-世界初の構造形式 複合エクストラードボード橋-    | 18          |
| 30年 6月 9日(土)                            | <b>日比野誠(設建H6)</b>                                | 学科の近況とコン研の研究と思い出                               | 25          |
| 30年 6月 9日(土)                            | 村沢 譲 (開46)                                       | 地盤ひとすじ・・・半世紀                                   | 20          |
| 令和元年 6月15日(土)                           | <b>鬼束幸樹(設建H4)</b>                                | 学科の近況と<br>研究内容(魚のすみやすい川づくり)について                | 21          |
| 令和元年11月 9日(土)                           | 吉村重敏(開51)                                        | 地元歴史二題の発信「漢方医尾台榕堂と縄文火焰<br>型土器」 新潟県十日町市議会議員     | 22          |
| <del>令和2年6月13日(土)<br/>(東京支部春季講演会)</del> | <del>安田 進(開45)</del>                             | <del>新型コロナの影響により止む無く“秋季講演会”に延期とさせて頂きました。</del> | <del></del> |
| 令和2年11月7日<br>(東京支部秋季講演会)                | 安田 進(開45)                                        | 地震や豪雨による地盤災害の防止に向けて                            |             |

※今後、新型コロナ禍の為、ご案内が HP または e-mail となることもございますので  
ご容赦ください。

注) 講師名の中で太字は九州工業大学教授等

安田先生の講演の参加者：上段は分会、下段 ( ) 内は支部全体

## 6. 建設系の同窓生は、隔年に、北九州に集まっています。

鉱山及び建設系の学部・大学院の卒業・修了者は、隔年に、学びの地・北九州に集い、親睦を深め、情報の交換を行っております。

平成5年11月に第1回同窓会が開催されて以来、最近では隔年に開催されており、平成30年で、12回目を数えております。毎回『建設系』の名の下に、全国各地から150名近く同窓生が集い、旧交を温めております。

昨年11月の第12回同窓会には、分会から10名近い会員が参加しました。

来年11月には第13回同窓会が予定されています。分会員の皆様、多数、北九州へ駆けつけられることを期待しております。

## 7. 分会は、下記の者でお世話いたしております。

### 鉱山・建設系分会役員名簿

|         |      |         |       |
|---------|------|---------|-------|
| 分会長     | 柿原利之 | (開46)   | 本部代議員 |
| 幹事長     | 眞柴浩  | (設建H8)  | 本部代議員 |
| 幹事      | 足立二雄 | (開41)   |       |
| 同(会計担当) | 小郷政弘 | (開51)   |       |
| 同(書記担当) | 岡田光志 | (開62)   | 本部代議員 |
| 同(HP担当) | 江崎純  | (開H1)   |       |
| 同       | 幸田英司 | (建社H16) |       |

幹事若干名の増員を検討中です。

特に、平成年代、建築学コース卒の方の自薦・他薦を求めています。

## 8. 連絡先 —ご要望、お問い合わせはこちらへ—

分会へのご要望、お問い合わせ、行事へのご参加申し込み等は下記へお寄せください。

(ご連絡先) 幹事長 眞柴 浩 (設建H8)

メールアドレス : [masiba@ce.taisei.co.jp](mailto:masiba@ce.taisei.co.jp)